

... medical term ...

医療用語

日常会話に使ってみた

普通の人聞いても理解しにくい医療用語を解説しながら、ちょっと強引に日常会話に取り入れてみるコーナーです。

今回の用語

君のムンテラを聞かせてくれ。

ムンテラ

意味

患者さんや家族に対して、医師などが病状や治療方針を説明することを「ムンテラ」という。元はドイツ語の「MundTherapie (ムントセラピー)」を略することから生まれたらしい(諸説あり)。日本の医療用語はドイツ語が多いのです。



日常会話での使い方

なんらかの事情を説明するシチュエーションで使いたい。明日から、どんどんムンテラしていこう。

(使い方例) →

機械の使い方がわからない彼女に...

それ、俺ならムンテラできるぜ。

女性が接客する店の領収書を見つけた妻に...

きちんとムンテラできる領収書だ。

今月2回目の大遅刻をした部下に...

一応、君のムンテラを聞いておこうか。

※実際の用法とは異なります。ご使用にはご注意ください。

doctor
helicopter

県内全域に20分で到達! ドクターヘリ稼働



▶ | フライトドクター flight doctor

ドクターヘリは出動要請から5分以内に離陸、全県下に20分以内に到達します。救急現場からの早期かつ継続的な治療介入、搬送時間の大幅な短縮を通じて救命率向上、後遺障害軽減に大いに寄与できるものと確信しています。

▶ | フライトナース flight nurse

「ドクターヘリ、エンジンスタート!」。フライト担当日は、いつも以上の緊張感に包まれます。それでも患者さんに必要な看護をいち早く開始できることは、フライトナースとして大きなやりがいとなっています。今後も研鑽を重ね、1人でも多くの命を救えるフライトナースを目指します。

今年の4月18日より「香川県ドクターヘリ」の運用が始まりました。ドクターヘリ(通称:ドクヘリ)は、救急医療に必要な機器・医薬品を装備し、救急医療に従事しているフライトドクター、フライトナースなどが同乗して、時速約200kmで救急現場へ急行。香川県全域に約20分で到達し、救命医療を行います。現在、香大病院と香川県立中央病院が基地病院となり、1週間交代で消防機関からの要請によって現場出動や施設間搬送を行っています。

運航日は朝8時からのフライトドクター、フライトナース、操縦士、整備士、CS(communication specialist)、救急統括医によるブリーフィングで始まります。ドクターやナースに注目が集まりがちですが、CSや救急統括医による「情報の共有」と段取りが運用を支えているのは間違いありません。事務スタッフも限られた時間の中で他機関との調整などに奮闘しており、病院が一丸となってドクヘリをバックアップしています。

香川県ドクターヘリは県全体を俯瞰し、傷病者の命を救うだけでなく、傷病者が元の生活に戻れることを目的として、オール香川で全県民のために取り組む事業です。香川県の医療に携わるすべての方々から様々な協力を受けてフライトしています。